

國學院大學学術情報リポジトリ

《公開講座記録》第二回「しぶカフェ」（共生社会×渋谷カフェ）：「渋谷の落書きとアートのあいだ：「仕事」プラス、持続可能なまちづくり」

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-03-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002001516

《公開講座記録》

第二回「しぶカフェ」(共生社会×渋谷カフェ)

「渋谷の落書きとアートのあいだ」 ―「仕事」プラス、持続可能なまちづくり―

令和五(二〇二三)年度に実施した第二回「しぶカフェ」は、「渋谷の落書きとアートのあいだ」―「仕事」プラス、持続可能なまちづくり―と題して、國學院大學研究開発推進センターにおいて推進する「(SDGs)と建学の精神」研究事業、渋谷学研究会の主催により録画配信にて開催された(國學院大學公式YouTubeチャンネル(動画アーカイブ)にて公開)。本記録は、その第二回「しぶカフェ」の報告・コメントの内容をもとに、加筆修正を行ない、編集したものである。

本センターにおいて実施する「しぶカフェ」(正式名「共生社会×渋谷カフェ」とは、「多様性」と「共生社会」をキーワードに、渋谷に通う学生、会社員、来街者、渋谷区民、渋谷に関心のある方を主な対象として、さまざまな発見と話題提供者を交えながら、持続可能な社会、サステナブルな生き方、SDGs(持続可能な開発目標)について考える機会として企画したものである。

第二回目の「しぶカフェ」では、第一回に引き続き、「シブサス」(シブヤサステナブル推進協議会)の関係者と連携し、「渋谷の落書きとアートのあいだ」と題して対話が繰り広げられた。メインとなる話題は、アートの「仕事」

を通じて社会課題解決に取り組む、一般社団法人CLEAN & ART代表理事の傍嶋賢氏から提供いただき、シブヤサステナブル推進協議会の松嶋範行氏、國學院大學研究開発推進機構客員教授の古沢広祐氏を迎え、三人の対談が行なわれた。その内容は、「仕事」として社会課題解決の活動に携わり、持続可能なまちづくりを行なっていくことの楽しさ・遣り甲斐・困難さ・可能性などについての対話が繰り広げられたものとなっている。

また、三人の対談内容について、渋谷区環境政策部環境整備課さいいなまちづくり係長の清水裕樹氏、第七回「渋谷区長への施策提言コンペ」(令和五年度開催)において区長賞を受賞した國學院大學学生の清水元葵氏、三浦夕佳氏、森下陽向氏、小松遥氏のグループ、研究開発推進機構客員研究員の秋野淳一氏からのコメントをいただくことで、異なる角度からの視点も交えた構成となっている。これらの報告・コメントを通して、渋谷区の環境問題、SDGsへの取り組み、「持続可能なまちづくり」についての議論がさらに深まる契機となることを祈念して企画した第二回「しぶカフェ」の記録をぜひ一読いただきたい。

なお、本記録を掲載するにあたっては、報告者及びコメントをいただいた皆様から加筆修正などの作業にご協力を賜った。この場を借りて、編集にご協力いただいた皆様に深く御礼申し上げたい。

◇講演会記録(所属・肩書は開催当時。敬称略)

第二回「しぶカフェ」(共生社会×渋谷カフェ)

「渋谷の落書きとアートのあいだ ―「仕事」プラス、持続可能なまちづくり―」

主 催 國學院大學研究開発推進センター(「SDGs」と建学の精神」研究事業×渋谷学研究會
開催方法 國學院大學公式YouTubeチャンネル(動画アーカイブ)による配信

※配信URL <https://www.youtube.com/watch?v=LAz7JKNqTEw>

日時 令和六(二〇二四)年三月十一日(金)より配信開始

報告者 古沢広祐(國學院大學研究開発推進機構客員教授)

松嶋範行(シブヤサステナブル推進協議会リーダー)

傍嶋 賢(アーティスト・一般社団法人CLEAN&ART代表理事)

コメント 清水裕樹(渋谷区環境政策部環境整備課さいいなまちづくり係長)

清水元葵(國學院大學学生・第七回「渋谷区長への施策提言コンペ」区長賞受賞者)

三浦夕佳(同右)

森下陽向(同右)

小松 遥(同右)

秋野淳一(「しぶカフェ」事務局、國學院大學兼任講師・研究開発推進機構客員研究員)

司会進行 小林裕美子(國學院大學大学院生・研究開発推進機構作業協力者)

※本記録の編集作業は、高橋亮一(研究開発推進機構ポスドク研究員)、山口順平(研究開発推進機構研究補助員)、

篠原大輝(同上)が主に担当し、宮本誉士(研究開発推進機構教授)、佐藤響(研究開発推進機構臨時雇員)、

平塚結希(同上)が協力した。

第二回「しぶカフェ」(共生社会×渋谷カフェ)

「渋谷の落書きとアートのあいだ ―「仕事」プラス、持続可能なまちづくり―」

【古沢】皆さん、こんにちは。古沢です。國學院大學の「しぶカフェ」の第二回目をこれより始めたいと思います。

前回の第一回「しぶカフェ」(『公開講座記録』第一回「しぶカフェ」(共生社会×渋谷カフェ)『シブサス―東京渋谷で進む環境にやさしいまちづくり―』『國學院大學研究開発推進センター研究紀要』第十八号、令和六(二〇二四)年)では、今回もお越しいただいた松嶋範行さんや、國學院大學学生の俵里奈さんにも参加していただきました。「しぶカフェ」は、持続可能な渋谷をめざす松嶋さんを中心としたシブサス(シブヤサステナブル推進協議会)の皆さんと一緒にいる公開講座です。渋谷区と連携しながら、様々な取り組みをしているシブサスでは、今回の「しぶカフェ」や授業等で國學院大學とも連携をしています。

今回、特にメインになっているのは、「落書き」あるいは「アート」、もう一つは「仕事」ということで、学生の皆さんには渋谷をもう一度見直してほしいと考えています。渋谷は、「サステナブルなシブヤ」というのをキーワードにしています。シブサスをはじめ、いろいろな取り組みが行なわれています。渋谷の中には、いわゆるビル街だけではなく、人々の生活があり、自然とのつながりもあります。そうしたつながりの中で様々な出会いや発見をしていただくとともに、これから社会に出ていくときに、多面的にそれらを活用していくような生き方もしてほしいと願って



第2回「しぶカフェ」(共生社会×渋谷カフェ)



渋谷の落書きと「仕事」+ 持続可能なまちづくり アートのあいだ

YouTubeで
配信
(参加無料・
申込不要)
下記・二次元
コードより
どうぞ!

1 「しぶサス」がつなぐもの ～「仕事」として続けるサステナブルな活動～

松嶋 範行 氏 (シブヤサステナブル推進協議会リーダー・南松環舎代表取締役)

2 渋谷の落書きとアートのあいだ ～サステナブルな活動から見えるアート～

傍嶋 賢 氏 (アーティスト・一般社団法人CLEAN&ART代表理事)

3 トークセッション ～「仕事」とサステナブルな活動を両立する魅力～

古沢 広祐 氏 (國學院大學研究開発推進機構客員教授) × 松嶋 範行 氏 × 傍嶋 賢 氏

◆コメント 清水 裕樹 氏 (渋谷区環境政策部環境整備課きれいなまちづくり係長)

清水 元葵 氏・三浦 夕佳 氏・森下 陽向 氏・小松 遥 氏
(國學院大學学生・第7回渋谷区長への施策提言コンペ区長賞受賞者)

◇司 会 小林 裕美子 氏 (國學院大學大学院生・研究開発推進機構作業協力者)

主 催 國學院大學研究開発推進センター「(SDGs)と建学の精神」研究事業×渋谷学研究会



【公開開始】R6 (2024) 3.11

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

開催中 >>> R6(2024) 5.31

います。

そこで、今回は文化の発信地である渋谷において、アートに関わる様々な活動をされている傍嶋賢さんからお話を伺います。傍嶋さんは、渋谷の各地で行なわれた活動を紹介し表彰する取り組み、「渋谷サステナブル・アワード」で、第一回(平成三十一年(二〇一九)年)の大賞を受賞(「落書きの除去活動及び啓発活動に関連する事業」)されています。今日はその話がメインになります。

また、これからお話をいただく松嶋さんも「渋谷未来デザイン」(平成三十一年(二〇一八)年に設立された社会的課題解決に取り組む産官学民連携組織)や、渋谷でのスタートアップ——多様な新しい仕事をつくっていくような取り組み——など、いろいろなことを先頭に立って実践されていますので、そうしたお話もしていただきたいと考えています。

ということで、第二回「しぶカフェ」では、渋谷の多面的な姿を皆さんに見ていただければ幸いです。